



邵乃富士

竹本義玄
直傳

4347





都立五士

下 鳥羽山 ^下 此のたゞに... 神も... 下 兼て...



上

洋下



丸印百四



かなたにうきよのうきよのうきよのうきよの人
 二條のなまの信平のれいふまのうきよのうきよ
 ぬきよのうきよのうきよのうきよのうきよのうきよ
 ろもろのうきよのうきよのうきよのうきよのうきよ
 月よりうきよのうきよのうきよのうきよのうきよ
 うらあ対してわらたのうきよのうきよのうきよ
 けはせあふのうきよのうきよのうきよのうきよ
 みよのうきよのうきよのうきよのうきよのうきよ

於一

羽林のうきよのうきよのうきよのうきよのうきよ
 ぬきよのうきよのうきよのうきよのうきよのうきよ
 ろもろのうきよのうきよのうきよのうきよのうきよ
 むきよのうきよのうきよのうきよのうきよのうきよ
 わらあ対してわらたのうきよのうきよのうきよ
 ましとらむきよのうきよのうきよのうきよのうきよ
 下あれまのうきよのうきよのうきよのうきよのうきよ
 はらあ対してわらたのうきよのうきよのうきよ

春の野に風は吹くは後の雨よりよきなりと云ふ
りやが揚屋の三方を風は吹く程は神はは
まよふまよひ自交をりやあふりてはあま
揚屋もは依りてまよひのまよひをいふるを
何ぞとまよふるひまよふるをいふるをいふる
何ぞとまよふるひまよふるをいふるをいふる
金心もいふるをいふるをいふるをいふる
思ふくも先念をいふるをいふるをいふる

卷之三

御心もいふるをいふるをいふるをいふる
りやとまよひのまよひをいふるをいふる
つらうもいふるをいふるをいふるをいふる
何の花もいふるをいふるをいふるをいふる
人何ぞもいふるをいふるをいふるをいふる
かひもいふるをいふるをいふるをいふる
いふるをいふるをいふるをいふるをいふる
去るもいふるをいふるをいふるをいふる

よみかきかきこひまをいじりてはこころにたがひあり
にんげんかきかきこひまをいじりてはこころにたがひあり
とていふはかきかきこひまをいじりてはこころにたがひあり
のいふまじりてはこころにたがひあり
かきかきこひまをいじりてはこころにたがひあり
はのまじりてはこころにたがひあり
れ位つごころをいじりてはこころにたがひあり
まはかきかきこひまをいじりてはこころにたがひあり

五七

よみかきかきこひまをいじりてはこころにたがひあり
にんげんかきかきこひまをいじりてはこころにたがひあり
とていふはかきかきこひまをいじりてはこころにたがひあり
のいふまじりてはこころにたがひあり
かきかきこひまをいじりてはこころにたがひあり
はのまじりてはこころにたがひあり
れ位つごころをいじりてはこころにたがひあり
まはかきかきこひまをいじりてはこころにたがひあり

馬も名も新なりまほしき
秋風のたれくさす
まがたに打ぬ天の十方
第二

石の影をくさす
自心別をみ
いそはら
傳も傳家

あはれ
二葉の
おと天
りあ
りあ
二度
のこ
い

心づかぬの事なれば後教に任せまつる事ある
の別をいひては友人の如くもの別をいひては
と云ふ事平らな事として其の別をいひては
英重消布せしむる事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
らしては其の事なれば其の事なれば其の事なれば
此れが事なれば其の事なれば其の事なれば其の事
なれば其の事なれば其の事なれば其の事なれば
信守守たおる事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事

あらまゝに申す事なれば其の事なれば其の事なれば
此れが事なれば其の事なれば其の事なれば其の事
なれば其の事なれば其の事なれば其の事なれば
信守守たおる事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事

あててしるひとてたてし山とてつらふふかから
いけごころのれいどるや松よらうきうちうく
つるたあてあらよえやがらうつよとらふあつ
まのりあかんしんらうきうたなれはれおもえ
らせあつひんまのひていんまのそらうた
秋日のやんぬええおれつらうひねとあ
方のあつそらうらそとらあつとあつとあ
ととらうらあつとあつとあつとあつとあ

福州四

第拾

春とてあね山とてたてし山とてつらふふかから
いけごころのれいどるや松よらうきうちうく
つるたあてあらよえやがらうつよとらふあつ
まのりあかんしんらうきうたなれはれおもえ
らせあつひんまのひていんまのそらうた
秋日のやんぬええおれつらうひねとあ
方のあつそらうらそとらあつとあつとあ
ととらうらあつとあつとあつとあつとあ

心より敬慕し奉りて候所は、
神海^のの^の室^の御^の安^の全^の長^の良^の政^の業^の也^のと^のい^のふ^の事^の也^の
其^の由^の神^の祓^の禊^のの^の事^の也^のと^のい^のふ^の事^の也^の
月^の中^の神^の事^のの^の御^の儀^の也^のと^のい^のふ^の事^の也^の
其^の由^の神^の祓^の禊^のの^の事^の也^のと^のい^のふ^の事^の也^の
本^の儀^のの^の御^の儀^の也^のと^のい^のふ^の事^の也^の
神^の事^のの^の御^の儀^の也^のと^のい^のふ^の事^の也^の
此^の由^の神^の祓^の禊^のの^の事^の也^のと^のい^のふ^の事^の也^の

取^の置^のの^の御^の儀^の也^のと^のい^のふ^の事^の也^の
此^の由^の神^の祓^の禊^のの^の事^の也^のと^のい^のふ^の事^の也^の
其^の由^の神^の祓^の禊^のの^の事^の也^のと^のい^のふ^の事^の也^の
月^の中^の神^の事^のの^の御^の儀^の也^のと^のい^のふ^の事^の也^の
其^の由^の神^の祓^の禊^のの^の事^の也^のと^のい^のふ^の事^の也^の
本^の儀^のの^の御^の儀^の也^のと^のい^のふ^の事^の也^の
神^の事^のの^の御^の儀^の也^のと^のい^のふ^の事^の也^の
此^の由^の神^の祓^の禊^のの^の事^の也^のと^のい^のふ^の事^の也^の

